

ペットボトルの水平リサイクルについて

令和6年度第1回審議会で諮問しましたペットボトルの水平リサイクルについて、調査及び検討状況は下記のとおりです。

記

1. 検討状況

現在、稲沢市では、ゼロカーボンシティの実現を目指し、市民のリサイクル意識及びリサイクル率の向上を図るため、ペットボトルの水平リサイクル導入に向けて調査及び検討を進めている。

大手飲料メーカーは、ペットボトルの原材料について、将来的にリサイクル原料の割合を高くする目標を掲げており、本市では、サントリーホールディングス(株)（以下「サントリー」）、市内に工場のある明治ホールディングス(株)（以下「明治」）と、現行の収集形態に大きな変更なく水平リサイクルができる体制を整えるべく、随時打ち合わせを行っている。

2. アンケート調査

8月に愛知県内の全市町村を対象に、「ペットボトル水平リサイクルの取組状況」についてのアンケート調査を行った。その結果、54市町村中、過半数の30市町が「水平リサイクル実施済」であった。

3. 協定の締結

稲沢市内で回収したペットボトルを水平リサイクルするため、稲沢市・サントリー・明治の三者で連携協定を締結する方向で検討する。

市民の排出方法は、協定締結後も「ラベル・キャップを外して、洗って、できる限りつぶして出す」という現在のルールと変更はない。

4. スケジュール

令和7年4月から水平リサイクルを開始できるよう、市民への周知や中間処理（べール化・一時保管）の委託契約等の準備を進める。

5. その他

・明治は市内の工場でペットボトルを成型しており、資源の地域内循環として取組みをPRしやすい。

・水平リサイクルに関する明治との協定締結は、全国初となる見込みである。